

コイヘルペスウイルス病の発生時の蔓延防止方法

福島県内水面水産試験場 生産技術部
平成16年度事業報告書

1 部門名

水産業－内水面(防疫環境)－魚病、コイ
分類コード 19-09-26620000

2 担当者

神山 享一

3 要旨

コイヘルペスウイルス病(KHV病)が発生した釣り堀において、蔓延防止のための措置として生残魚の処分と池消毒のため、市販の次亜塩素酸ナトリウム溶液(12%)を用いた消毒を検討した。

- (1) 消毒には有効塩素濃度100ppm以上(1,200倍希釈)で十分であるが、予備試験の結果コイが飼育されるような有機物の多い水では散布直後に半分以下の濃度まで低下することが判ったことから、釣り堀容積の約500倍の濃度で散布した。
- (2) 散布直後の有効塩素濃度は100ppm以上であり消毒効果は十分であった。
- (3) 散布3日後には残留塩素濃度が10ppm以下となり、相当量のチオ硫酸ナトリウムで中和後排水が可能であった。排水中に残留塩素は検出されなかった。
- (4) 池内のコイについては散布後2日後までに9割以上回収され、中和・排水後に全てが回収できた。

4 その他の資料等

なし